

- 2、サイドスリップ～ななめの風の非常に強い時。
- 3、ストールランディング～
- 4、ノーフラップランディング～向い風の非常に強い時。
- 5、ノーマルランディング～状態に合わせて自分の好きなスタイルで。
- 6、フルフラップランディング～旅客機などがよく使用する方法。

次に公法の試験ですが、これは全く船の場合と同様でして、私の場合は上磯を中心として大野・松前・八戸・青森のコースでありましたが、この場合何んと云いまして「**気象の判断**」が一番大切であります。飛行場ではどこでもそうですが、完全に各地の天気をキャッチしておりますが、又気象と云うのはそのつど変化のあるものでございます

私のテストで体験したことでありますが、非常にきびしい気流の為に、全く思うように飛行機が飛んでくれない。(高度は3000フィート・パワーを一ばいに入れてもどンドンおちて来る。そこで毎分1000フィートの角度で更に山につっこんで行くようにし、急上昇をかけたところ、きびしい気流と山を越えることが出来なわけですが、本当に気流の変化更にはパイロットのその判断力は何においてもまず大切であります。

昨年の10月に待望のライセンスがきました。はじめは、どんなに立派なものかと大いなる期待をかけていましたが、何んとそれは私の大いなる期待に反し、わびしいものだった。色と云えば、さえないし、住所本籍はただ北海道と書いてあるだけだった。しかし、さえない色のライセンスもだんだんとさえて来たから不思議なものです。ライセンスを手にした4日後に、待望のロング飛行に出掛けました。目的地は仙台である。仙台迄行く途中今日こそは「オン・トップ」をやってやろうと思ってましたが、雲一つないすばらしい天気であたかもライセンスを手にし、はじめてのロング飛行をお祝してくれているかのような空であった。(オン・トップ～雲の上を飛ぶこと)

皆さんも旅の飛行機の中で雲の上を飛ぶ時、美しきスチュアデスに「今日のオン・トップはなかなかいいですね」とい云ってみて下さい。彼女云うに「あら！どちらの会社で」となり、そんな時あまり長いこと話をしているのは調子がくるってしまいますけれども、まあ～そんなところでお茶の一パイもごちそうになってくると又旅も一層楽しいものになると思うのです。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 3. 22	52名	40名	12名		
47. 3. 15	52名	41名	11名	9名	96.54%
在函クラブ	(3/9) 函館R.C. 91.20%	(3/14) 函館東R.C. 97.56%	(3/10) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 4月5日

プログラム「未定」

(吉井会報委員)

事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
 例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
 五島軒駅前支店
 ロータリー合同事務所
 ☎. (0138) 23-3870
 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1972. 4. 5

第393回例会

1971~1972 第38号



トラピスチヌの丘

椎谷龍彦会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから (ブライトホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム

「映画」

陸上自衛隊地方連絡部

第392回例会記録

- 司会 船矢健喜智会長
- ビジター 函館R.C. 飛世 安吉君 他3名
函館東R.C. 吉川 正直君 他2名
五稜郭R.C. 越前 達郎君 他5名
- 斉唱 我等の生業

●会長報告

侯野会員がこのたびポールハリスフェローになられましたが、その賞が国際ロータリーより届いてまいりまして、ガバナーより授与がございました。次に前週角谷会員のお母さんが亡くなられましたが、そのお葬式についてのお礼の挨拶がございました。最後に卓話終了後インターシテゼネラル・フォーラムの提出議題について話合いたいと思います。

●幹事報告

静内ロータリークラブから5月7日9時(於:公民館)よりチャータナイト挙行のお知らせがありました。次に亀田ロータリークラブ分割について、北ロータリークラブの

文案をお手元にさしあげてあります。これは巻頭を本日国際ロータリークラブに送ることになっておりますので、文中不明点がありましたら例会終了後幹事までお知らせください。最後に来年の国際ロータリー大会はリマン湖畔のローザンヌ市になっているらしいです。旅行を兼ねて参加したい方は今から心掛けてください。本日例会終了後幹事を開きます。

●ニコニコボックス

山内 一雄 会員：病欠のおわびとして

角谷 会員：お母さんの葬儀に対するお礼として

市川 会員：御子息が岩手医科大学に入学、おめでとうございます。

●卓 話 「抜歯の禁忌症について」 北條 澄男 会員

今日私達が歯科疾患の一つといたしまして、老若男女を問わず診療の一角として抜歯を行なっているわけですが、私達の立場から言えば、抜歯適合症の患者であっても同時に他領域、ことに内科的疾患に罹患していることもあります。それを患者自身が知っている場合もあれば知らずに歯科疾患を主訴として診療室を訪れ、一見抜歯適応症として抜歯が行なわれることがあります。後者の場合が問題で、他領域の疾患の種類によっては、抜歯の為の局所麻酔によっても、又抜歯操作時の患者の精神緊張によっても、あるいは抜歯後の出血の止血過程においても不慮の急激な事故あるいは遷延性の異常経過をとることがあります。

今日これからお話しすることは他科と関連性のある全身的疾患による抜歯禁忌症についてでありまして、口腔疾患による禁忌症はまた機会がございましたらその時お話ししたいと思います。全身的疾患で禁忌症と挙げられているものは「心臓疾患」「高血圧症」「動脈硬化症」「副腎ステロイド療法を受けている疾患」「糖尿病」「血液疾患」「妊娠」その他「月経」「腎肝疾患」等である。

以上の疾患の主なものを順を追って簡単に説明したいと思います。

(1)心臓疾患と抜歯について

重症の代償不全の症状のあるような心疾患患者は当然抜歯は禁忌であり、問題は慢性の心疾患があり、歯科通院可能な症例である。これらの患者は治療に当たっての間診により既応の疾患を大体知ることが出来るが、できれば内科主治医の意見を患者を通してかあるいは文書をもって知らせていただければ我々としても治療方針を立てやすい次第です。

我々が日常使っている局所麻酔剤は10万分の1エピレナミン加2%キシロカインを使用しておりますが「ある学者の研究によりますと、これを使って注射後抜歯操作終了までの心電図を追求したところ26.2%という高率に心臓性不整脈が出現した」という結果が報告されておりますが、その原因は明らかでなく、ある患者によりますと「手術操作中患者が気付かずに抜歯操作に当って一時呼吸を止めて、いわゆる「Valsalva 現象」を越え、その結果肺循環が制限されて血中の酸素欠乏と炭酸ガスの増加をきたし、迷走神経の刺激から心拍の種々の異常を招くことがあります、これがその研究実験の過程に越こったのではないか」という見解が述べられております。いずれにせよこのように抜歯時に心臓不整脈が起こりやすいということは、歯科の外科的処置においてショック様状態の全てが心臓起源であるとは言えないが、時に危険なショックに発展する可能性があるの特に日常気をつけている次第です。

(2)高血圧症と抜歯について

一般に血圧は年齢と共に上昇するからいずれの線が正常値か定めがたいのですが、通例頻回測定してそのたびごとに60才以下の人で150/90mmHg、60才以上の人で160/95mmHg以上を高血圧者とされているようです。このような方が抜歯の目的で我々のもとを訪れ、この方に局所麻酔剤を注射したとえ疼痛を感じないにしても緊張状態に達し、その上その歯牙が植立強固であれば血圧上昇を招き、その結果脳あるいは心臓の血管障害を引き起こす危険がある。アドレナリンが添加されていればなおさらである。

それ故私達は問診によりまして、血圧の高低を予測したり、又現在高血圧症で内科に通院している場合のいずれにしても一応内科医の指示を仰いで、その上で抜歯操作に取りかかるように心掛けている次第です。

(3)動脈硬化症と抜歯

抜歯の全身的禁忌症として挙げられる諸疾患のうちには心臓病や血液疾患などのごとく頻度の高くないものがあるが、高血圧症やこの動脈硬化症はだれでも中年以後の人で

は持っている可能性がありますので、我々歯科医としてもこの年齢層の患者には特に麻酔に関しては気を使うことが多い。

一般に動脈硬化症に於いては、血管壁がもろくなっているということだけでなく、血管壁が石灰化して管腔が狭くなっている本症では観血手術による血栓形成が患者に致命的結果を招くことがあり、抜歯もこの観血手術の一つとみなされている。

即ち抜歯することによって血液凝固作用の亢進および末梢血液中の粘着性血小板の減少から予想される血管壁への粘着現象などは血栓形成を促進する可能性がある。

(4)副腎ステロイド療法と抜歯

ステロイド・ホルモン療法は最近皮膚科、内科、眼科等でしばしば使用されているようですが、この療法を現在受けている患者はもちろん、歯科治療を受ける直前まで本剤を投与されている患者は本剤の為下垂体前葉よりのACTH(アクス)の分泌が抑制されており、二次的に副腎皮質の萎縮、予備能の低下を招いていると考えられ、このような状態の患者にステロイド剤を増加あるいは新しく再投与しないで手術を行なったり、麻酔をかけたりしますと、これら刺激がストレスとして作用し、副腎皮質に貯えられていた同ホルモンを早く分泌しつくし、急性副腎不全といわれるショック状態を起こすことがある。そういうわけで患者さん自身はあらかじめ我々に副腎疾患(例えばアジソン病)により他科に通院している場合はその旨をお伝えしていただければ、その方の生活医と相談の上で治療方針がたえられるわけです。

(5)糖尿病と抜歯

近年糖尿病患者はますます増加あるいは発見率が増加してきているようです。糖尿病患者は一般に細菌感染に対する抵抗性が弱くなっており、また創傷の治癒が悪い。その他本症は硬化性血管障害を中心とする心腎などの機能、内分泌相互間の調節異常、電解質および水分の減少等を伴うことが挙げられているようです。

我々が糖尿病患者の抜歯にあたって注意している点は、しばしば患者が歯腐の為十分食物の摂取が出来ずにて来院した時すでに低血糖の状態にあり、いわゆる「低血糖ショック」を起こす危険性を持っていることである。また手術侵襲によって特に局所麻酔剤にアドレナリンが添加されていなくても、生体内のアドレナリンが放出されて過血糖が助長される点も注意を要する。

(6)血液疾患と抜歯

血液疾患のうち抜歯の禁忌症となるものを挙げてみますと、白血病、紫斑病、血友病、貧血、顆粒細胞減少症等である。私達はこれらの疾患をあらかじめ患者自身、あるいは主治医より知らされている時はもちろんのこと、知らずに来院した時には問診と口腔診査によって歯肉の状態(歯肉壊疽や歯肉潰瘍の発見)、舌の状態(悪性の貧血では特有の赤味を帯びた乳頭の萎縮した舌炎を伴う)、粘膜の状態(粘膜出血斑あるいは粘膜貧血)、止血の状態等をよく診査した上でこれらの疾患を抜歯の前に発見し抜歯はさけるようにしている。

(7)妊娠と抜歯について

私達が妊婦の抜歯にあたって心配することは流産である。流産が最も多いのは妊娠初期の3ヶ月で、このうちでも妊娠3ヶ月に起こるものが最も多く、次に第2ヶ月であるこの2ヶ月間に起こる流産の数は全流産数の約60-80%に達するといわれている。妊娠4ヶ月以上になると妊娠月数の進むにつれて流産数は減少するといわれているようです。

流産の原因は外傷、手術、運動の他妊娠中毒症、心臓病、重金属中毒、薬物などが挙げられておりますが、私達が行なう抜歯も手術の項に挙げられるわけです。そういうわけで妊娠第3ヶ月(初期)までは抜歯を避けるようにしております。又、妊娠末期3ヶ月も抜歯は避けるようにしている。

以上の他に月経時の抜歯についてや腎・肝疾患の抜歯が何故いけないかはまた機会がございましたらお話ししたいと思います。

★インターシティ・ゼネラルフォーラムの提出議題について

- 1、ピジターの早期早退をどうして防止したらよいか。
- 2、ロータリーのピジターの呼び名をどうしたらよいか。

- 3、会員全員が参加出来る社会事業というものは何か。(以上俣野会員)
- 4、社会奉仕、特に地域社会奉仕を乏しい財源(主にニコニコボックスから)でまかなっているわけですが、この他の何かよい名案はないか。
- 5、例会の「マンネリ化」を打破してもらうすこし愉快的な例会にする名案を他のクラブにお教えていただいてはどうか。(以上遠藤会員)
- 6、洞爺丸記念碑の松林がだいぶ荒れてきているのでこれを北クラブだけでなく、ロータリークラブ全てが協力して整備したらどうだろうか。(新会員)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 3. 29	52名	41名	11名		
47. 3. 22	52名	40名	12名	10名	96.15%
在函クラブ	(3/16) 函館R.C. 92.80%	(3/21) 函館東R.C. 95.24%	(3/17) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 4月12日

プログラム「未 定」

(北条会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870

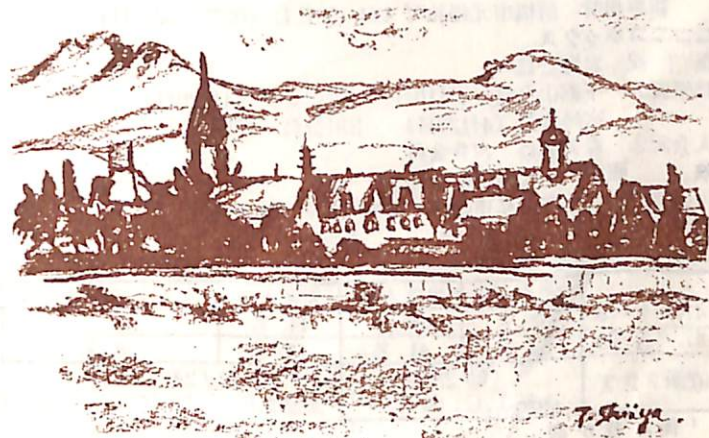


例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 4. 12

第394回 例会

1971~1972 第39号



トラビスチヌスの丘

椎谷龍彦会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから！(ブライツホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム

「てんかんのいろいろ」

成田 鉄蔵氏

第393回 例会記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長 斉 唱 君ケ代・それこそロータリー
- ◎ゲ ス ト 陸上自衛隊地方連絡部 田中 義広君・斉藤 満君
- ◎ビ ジ タ ー 函 館R.C. 池田 祐吉君 他2名
函館東R.C. 小泉 新一君 他3名
函館五R.C. 飯淵 至大君 他2名
- ◎会 長 報 告

「松前」にて行なわれますインターシティーゼネラル・フォーラムの提出議題については、前2回の例会に於きまして多数の意見が出されて大変満足に思っております。しかし、ガバナーよりの意見としては、特に新入会員の意見(クラブの方針等)疑問に思っている点等をどしどし発表してもらおうようにしてはどうか。と云うことでありますので時間も少ししかありませんので、書類にて来る4月10日迄提出していただきたいと